

第11回
学術集会大会テーマ「食を通じて伝えたいこと
伝わること」■午前の部■ 10時～12時
「食を通じて伝えたいこと伝わること」

座談会Ⅰ

食を通じたケア

座長：星野崇啓

食べることと身体感覚

「おいしい」と感じる要素

食とケアを受け入れること

■会期■

2024年4月21日(日)

10時～17時

(受付：9時30分～)

■開催・参加方法■

オンライン

会員の場合：参加費は無料です。参加登録後視聴用ID
をお送りいたします非会員の場合：参加登録をしていただき、参加費の
お振込確認後、視聴用IDをお送りいたします。

団体参加もごさいます。詳しくは学会HPをご覧ください。

■午後の部■ 13時30分～17時「食を
通じて伝えたいこと伝わること」

座談会Ⅱ

食と文化

座長：森 茂起

食す空間づくりの工夫

食をめぐる家族の文化・

施設の文化・地域の文化

季節・行事と食

食を通じた社会との関わり



イラスト提供 ふわふわ.り

<参加申込>

■申込方法：大会事務局宛に、以下の内容を明記の上お申込みください。

①お名前、②職種、③ご所属、④メールアドレス、⑤電話番号

⑥会員・非会員の別 ※団体参加可能です(詳細は学会ホームページへ)

■申込先：右記QRコードを読み取り必要事項をご入力ください。

学会ホームページからもお申し込み頂けます(裏面)。

団体申し込みは学会ホームページからお申込みください。

■参加費：学会員 無料 / 非会員 終日：5,000円、前半もしくは後半のみ：3,000円

■振込先：ゆうちょ銀行 ○二九店 当座 0105374



日本ソーシャルペダゴジー学会第11回学術集会のご案内

食を通じて伝えたいこと伝えること

子育てにおいて「食」は非常に大きな比重を占めています。新生児期における授乳は不安に満ちた母子関係の始まりに感情的・感情的な交流を引き起こします。幼児期になれば子どもの食の好き嫌いがはっきりしますが、十分な栄養が健康なからだを作りますから、養育者は子どもの食の好みに葛藤します。学童期に社会に出ることに備えて気分を害さない関係性の基本として食事のマナーが伝えられます。さらに食を通じて家族の個性を知り、地域の文化を体験し、社会の和が形成されます。養育者はどうしたら子どもが自発的に食べたいと思ってくれるか、さまざまな工夫をし感覚・体験を共有して相互の関係を築いてゆきつつ、子どもを地域社会につなげてゆくかはソーシャルペダゴジーの概念に則るものです。多くの方の体験や知恵を共有するため、座談会という形で議論することを企画いたしました。多くの方に御参加いただき、多くの意見を持ち寄った会になることを節に期待いたします。

< プログラム >

9:30 受付開始

10:00 開会 代表理事挨拶

10:05 座談会 I 「食を通じたケア」 座長:星野崇啓(さいたま子どものこころクリニック)

食べることと身体感覚

「おいしい」と感じる要素

食べることとケアを受け入れること

食事のマナーの伝え方

12:00 休憩

12:15-13:00 総会

13:30座談会 II 「食と文化」 座長:森 茂起(甲南大学)

食す空間づくりの工夫

食をめぐる家族の文化・施設の文化・地域の文化

季節・行事と食

食を通じた社会との関わり

16:30 閉会の挨拶 他

17:00 閉会

配信への参加方法

・受付時間になりましたら、あらかじめ配布しております視聴用 IDよりご参加ください。

学会HPからも参加登録できます

下記QRコードを読み取るか、URLを入力いただき学会 HPへお入りください。

<https://www.social-pedagogy.jp/>



HPからの参加登録方法

トップページから【第11回学術集会】の案内へとお進みください。

当日のオンライン参加

当日のオンライン参加は受け付けておりません。あらかじめご了承ください。